

1. Cinderella, R, Maxima と Sumatra(Windows のみ) をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
注) Windows の場合, 保存してから右クリックして「管理者として実行」を選ぶ.
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)
注) Sumatra のインストール先は, オプションで Program Files (または x86) を指定する.

2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

- (1) TeXLive を推奨 (2018以降では ketcindy が組み込まれている. ただし更新が必要)
- (2) KeTTeX は TeXLive の軽量版で以下からダウンロードできる.

<https://github.com/ketpic/kettex/releases>

注) インストールの詳細は doc>readmemore フォルダにある Readmemore(Mac,Win) を参照.

3. KeTCindy のインストール (更新)

- (1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.
 - ketcindy で検索 > Package ketcindy > **Repository** (最新版)
 - Repository は github サイトにある **最新版** へのリンク
Code > Download ZIP (フォルダ名は ketcindy-master)
 - Windows の場合 (i) **OneDrive の管轄外で漢字や半角スペースが入らない場所 (C:\ など)** に解凍する.
(ii) 解凍したら, **ketcindy-master** の **[-]** や半角スペースをとっておく.
- (2) doc にある ketcindysettings.cdy をダブルクリック (画面が狭ければ, 右方向に広げる).
 - 必要なら, 実行プログラムを Cinderella に設定する.
 - 他の cdy ファイルを開いているときは, Cinderella を一旦終了してからにする.
- (3) 画面上のボタン (1)(2) を選択して, (3) を順に実行する.

[1] 言語などの選択

Language

Japanese

English

TeX

platex

uplatex

latex

xelatex

pdflatex

lualatex

Graphic Code pict2e, Tpic, tikz

[2] TeX システムの選択

[3] TeX 不使用

Mkinit

初期設定ファイル ketcindy.ini を
ユーザホーム (ホーム) に作成

Update

TeX システムの ketcindy を更新

Work

作業フォルダ ketcindy(+日付) を
ホームに作成

4. テストラン

- Cinderella をいったん終了, ユーザホーム/ketcindy(+日付)/templtates の 1 つのファイルをダブルクリック.
- Figure を押して, pdf が表示されれば成功

5. その他

- ketcindy.ini はデフォルトではユーザホームに作られる.
 - CindyScripts>ketlib の 3 行目を `setdirectory(gethome());` とする.
 - Cinderella の Plugins フォルダにコピーした場合は, `setdirectory(plugindir);` とする.
- エディタの設定などについては, doc>readmemore フォルダにある Readmemore(Mac,Win,Linux) を参照.
- KeTCindyJS だけを用いるときは, Cinderella だけをインストールすればよい,
 - ketcindysettings.cdy で Notex を押すと, ユーザホームに ketcindy.ini ができる.